



平成 20 年 10 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 東京自働機械製作所  
代表者 代表取締役社長 市川 孝  
(コード番号 6360 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役総務部長 谷口 輝雄  
(TEL. 03 - 3866 - 7171)

### 平成 21 年 3 月期 業績予想の修正 並びに役員報酬減額に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 16 日付「平成 20 年 3 月期決算短信」で公表しております平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想を修正するとともに、役員報酬の減額を実施いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 連結業績予想の修正

(1)平成 21 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,725	85	119	45	3 14
今回修正予想 (B)	4,868	△42	35	△305	△21 28
増減額 (B-A)	△857	△127	△84	△350	—
増減率 (%)	△15.0	—	△70.6	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期中間)	4,435	75	129	52	9 52

(2)平成 21 年 3 月期 通期連結業績予想の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,207	219	284	158	11 01
今回修正予想 (B)	10,207	△286	△194	△480	△33 46
増減額 (B-A)	—	△505	△478	△638	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	9,611	219	320	55	3 89

## 2. 個別業績予想の修正

### (1)平成 21 年 3 月期 第 2 四半期累計期間業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,100	48	92	39	2 70
今回修正予想 (B)	3,991	△232	△145	△324	△22 45
増減額 (B-A)	△1,109	△280	△237	△363	—
増減率 (%)	△21.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期中間)	3,797	△50	21	51	7 49

### (2)平成 21 年 3 月期 通期業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,027	147	232	146	10 10
今回修正予想 (B)	9,027	△432	△322	△509	△35 22
増減額 (B-A)	—	△579	△554	△655	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	8,224	35	161	39	2 74

## 3. 業績予想修正の理由

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想、並びに平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正を致します。

売上高の修正については、大型プロジェクトの一部売上が第 3 四半期に延期されることによります。

営業利益及び経常利益の修正については、大型プロジェクトの新規開発要素の難易度が当初の予想を上回る高いものであり、想定原価を大きく超えたことによるものです。その原因は、新規開発において品質面で十分な管理体制がとれていなかったことによります。今後は、営業、設計、製造等の各プロセスにおけるチェック機能を高め、再発防止体制を更に一層高めてまいります。

当期純利益の修正については、上記要因に加え固定資産除却損、投資有価証券評価損、棚卸資産廃棄損によるものです。

(2) 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想、並びに平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正を致します。

営業利益、経常利益及び当期純利益の修正については前項と同じ理由によります。

お客様に喜んでいただける信頼性が高い商品を提供し、筋肉質な会社を実現するために、品質管理体制の強化のほか下記のような経費削減と業務の効率化に注力してまいります。

(1) 総人件費の削減

所定内労働時間の延長、各種手当の見直しなどを労働組合に申し入れをし、総費用のうち、大きな割合を占める総人件費の削減を早期に実施してまいります。

(2) 聖域のない経費削減

すべての経費の見直しにより着実に経費節減は図られておりますが、更なる経費削減と不急不要の予算執行の中止などを徹底して行い、流出費用を抑えるように進めてまいります。

(3) 生産性向上の推進

加工、組立、調整などの製造工程における作業能率を上げ、生産性の向上により製造コストの低減を図ってまいります。

(4) 設計品質の向上

設計ミスややり直し設計などロスの発生しない設計体制を築いてまいります。

4. 役員報酬の減額の内容

平成21年3月期業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、平成20年11月から平成21年3月まで以下のとおり役員報酬の減額を実施いたします。

・役員報酬の減額の内容

代表取締役社長：月額報酬の30%を減額

大型プロジェクト担当取締役：月額報酬(役員報酬額)の30%を減額

取締役：月額報酬(役員報酬額)の20%を減額

以上

【見通しに関する留意事項】

本資料における業績の見通しは、当社が発表日現在で入手可能な情報による判断、過程及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確定要因や潜在的リスク等によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。